

令和7年度保健福祉部業務研究等報告会

塩釜圏域における 「にも包括」協議の場の体制整備について

仙台保健福祉事務所 母子・障害第二班
後藤 唯比、後藤 沙織、清野 敬子、二階堂 明子

塩釜圏域の概要



人口	176,481人	
市町村数	2市3町	
精神科病院の数	1か所	
基幹相談支援センター数	1か所	
協議の場の 設置状況	障害保健 福祉圏域	1/1か所
	市町村	5/5か所 (共同設置)

※令和7年4月時点のもの

塩釜圏域における「にも包括」協議の場

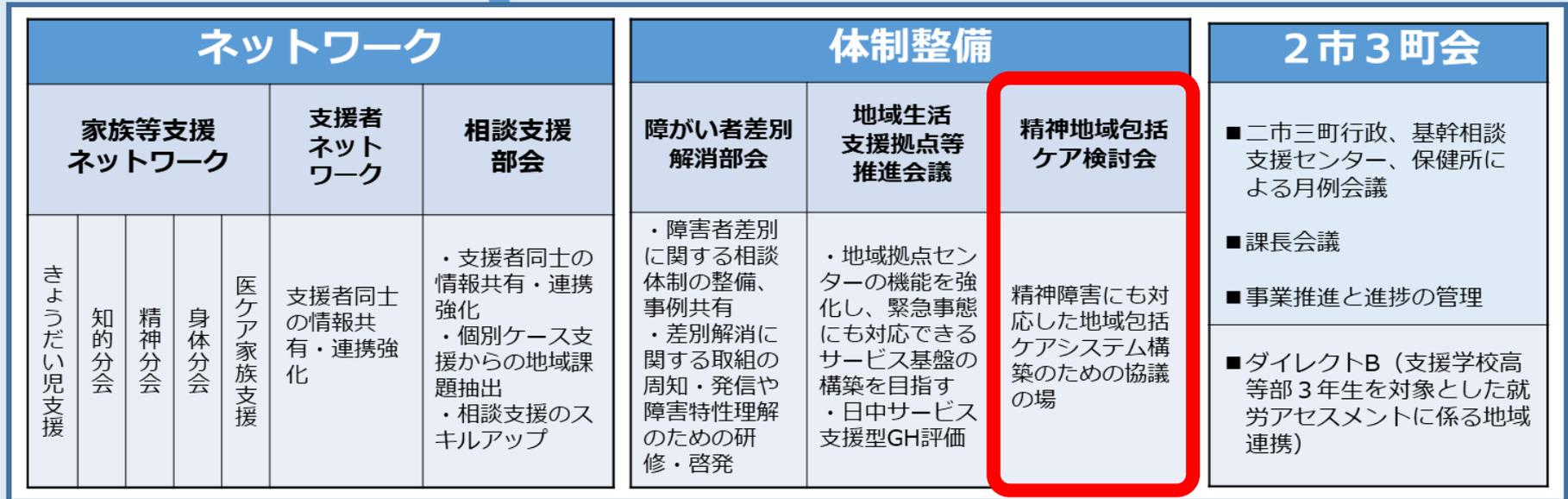
2市3町合同で、
1つの協議会を設置

宮城東部地域自立支援協議会

地域づくり運営会議
(地域づくり運営委員・2市3町)

全体会

地域づくりネットワーク会



相談支援事業所・関係機関・関係団体・障害福祉サービス事業所・行政

ニーズ・課題 地域の障がい児（者）とその家族／地域住民

※当自立協の事務局を、2市3町の障害福祉担当課(輪番制)と地域拠点センターふきのとうが担っている。

塩釜圏域における「にも包括」協議の場

協議の場 体制図

市町村
協議の場

宮城東部地域
自立支援協議会
精神地域包括
ケア検討会

2市3町

塩釜圏域
(部会圏域)
協議の場

仙台地域
協議の場

仙台保健福祉事務所
圏域支援会議

5市7町1村

現状

市町村協議の場と
塩釜圏域協議の場を
兼ねて設置・開催している

【構成員】

- 緑ヶ丘病院
- 多賀城市 福祉担当者
- 利府町 福祉担当者
- 地域拠点センター
ふきのとう
- 仙台保健福祉事務所

問題

各市町の地域課題が
見えにくい

構成員が1市1町福祉
担当者のみで、
管内市町(2市3町)の
意見や取組状況を
反映しにくい

体制整備の必要性



ヒアリングの実施(管内市町の実態把握①)

管内市町 保健担当者

時期

令和7年5月から

内容・方法

- 市町村技術支援で毎年実施しているヒアリングを活用
- 「にも包括」に関する認識・取組状況について聴取

管内市町 福祉担当者

時期

令和7年3月から

内容・方法

- 毎月出席している2市3町会を活用
- 「にも包括」協議の場と市町村障害福祉計画に関する認識について聴取

保健・福祉担当者双方において、
「にも包括」が求めるそれぞれの役割について
具体的にイメージできていない



「にも包括」を主に福祉分野の取組として捉える傾向があり、保健活動との関係性が十分に整理されていなかった。

自立支援協議会や既存の市町村障害福祉計画の枠組みで、課題抽出を行っているとは認識していた。

地域課題の調査(管内市町の実態把握②)

対象

管内市町保健・福祉担当者

時期

令和7年6月から

内容・方法

共通フォーマットを用いて、
保健・福祉部門それぞれに照会

共通フォーマット

	関係機関との連携	入院患者の地域移行	普及啓発	ピアサポートの活用	地域資源基盤整備
現状・課題					
現在行っている取組					
今後行いたい取組					

各市町の保健・福祉部門で
横断的な情報の共有状況に改善の余地がある



活動計画

目標

管内市町保健・福祉部部門が一体となって地域課題に取り組めるよう、保健・福祉部門が**共通認識を醸成し**、実効性のある「にも包括」協議の場を構築する

方法

管内市町 保健担当者

管内精神保健福祉担当者会議

管内市町 福祉担当者

福祉担当者との打合せ

地域生活支援関係者等研修会



活動スケジュール

時期	管内市町保健担当	管内市町福祉担当
6月	共通フォーマットを用いた地域課題の調査 目的:各市町の地域課題を把握する	
7月		
8月		精神地域包括ケア検討会 (課題解決に向けた取組①) 目的:体制整備に向けた方針を整理する
9月	管内精神保健福祉担当者会議 (課題解決に向けた取組②) 目的:「にも包括」の意識醸成と、庁内連携の重要性を共有する	管内市町福祉担当者との打合せ (課題解決に向けた取組③) 目的:体制整備の必要性を共有する
10月		
11月	仙台保健福祉事務所 圏域支援会議 (課題解決に向けた取組④) 目的:他市町村の市町村協議の場の取組を共有する	
12月	地域生活支援関係者等研修会 (課題解決に向けた取組⑤) 目的:各市町の地域課題の共有・整理、市町村協議の場の単独設置に向けた検討を行う	

精神地域包括ケア検討会での検討

課題解決に向けた取組①

対象

精神地域包括ケア検討会の構成員

時期

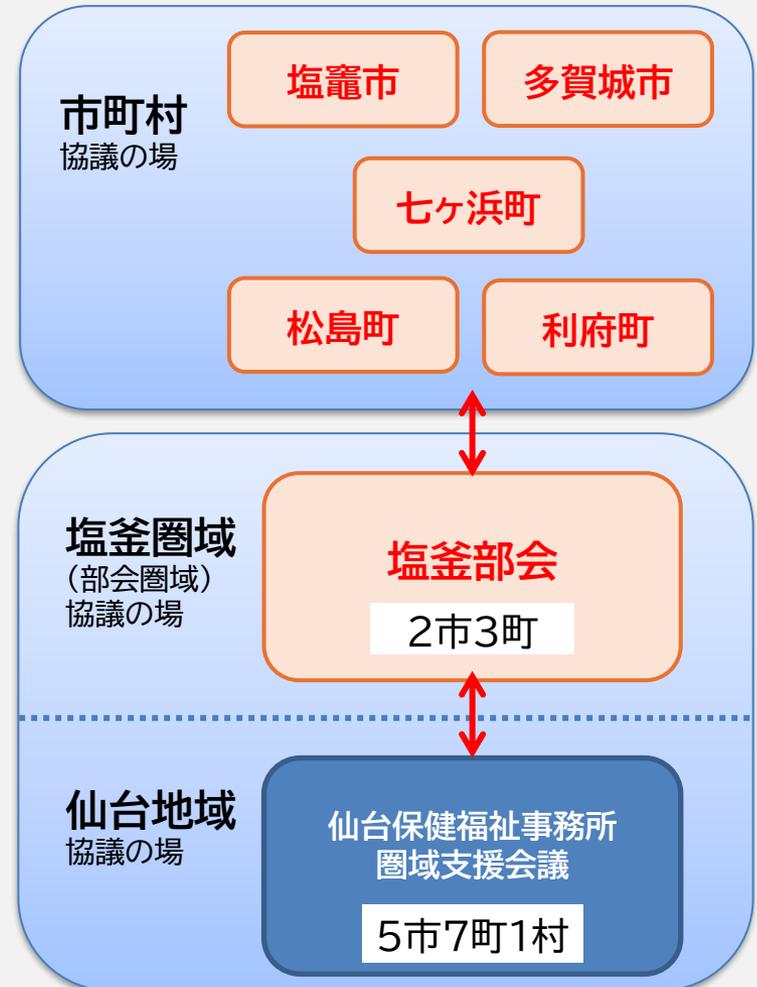
令和7年8月

内容

- 市町村協議の場の**単独設置**
- 塩釜圏域協議の場に2市3町**保健・福祉担当者を参集**する方針を整理した

体制整備に向けた検討

協議の場 新体制図



管内精神保健福祉担当者会議の開催

課題解決に向けた取組②

対象

管内市町 保健担当者

時期

令和7年9月

内容・方法

都道府県等密着アドバイザーに
講義を依頼

「にも包括」で求められる市町村
精神保健担当者のあり方について

地域支援センターぱれっとよしおか
に話題提供を依頼

黒川圏域の「にも包括」取組状況
について

会議終了後、参加者からは、

「庁内で連携強化を図りたい」

「横(保健・福祉)の連携で
課題を共有したい」

との感想が挙がった



「にも包括」における**保健の役割**と
保健・福祉部門の**庁内連携の重要性**を共有



管内市町福祉担当者との打合せ

課題解決に向けた取組③

対象

管内市町の福祉担当者

時期

令和7年9月から

内容

- 「にも包括」協議の場の国・県の動向
- 市町村障害福祉計画と「にも包括」協議の場の関連性
- 「にも包括」協議の場の体制整備の必要性 を共有した

事前に主管課と、

市町村協議の場
単独設置

圏域協議の場
保健福祉事務所主催

が望ましいことを確認(※)

「にも包括」協議の場の体制整備の必要性を共有



(※)「障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針」および「宮城県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業実施要綱」を判断根拠とした。

仙台保健福祉事務所 圏域支援会議の開催

課題解決に向けた取組④

対象

仙台地域(13市町村)管内

- 精神科病床を有する病院
- 市町保健・福祉担当者
- 基幹相談支援センター

時期

令和7年11月

内容

- 市町村及び部会圏域の「にも包括」構築に向けた取組
- 退院支援における地域と医療の連携 について意見交換を実施



地域生活支援関係者等研修会の開催

課題解決に向けた取組⑤

対象

管内市町
保健・福祉担当者

時期

令和7年12月

内容



都道府県等密着アドバイザーに
講義を依頼

- 「にも包括」において地域支援者が求められる役割について
- 市町村協議の場の必要性について

グループワークを実施

各市町のグループに分かれ、
各市町の地域課題の共有・整理

市町村協議の場の
単独設置に向けた検討

を行った

地域生活支援関係者等研修会 振り返り

課題解決に向けた取組⑤

良かった点

- 各市町の保健・福祉担当者が活発に意見交換できた
- 日頃の業務と「にも包括」の関連性を理解できた
- 市町の保健・福祉担当者が**庁内連携が課題**と認識できた
- 保健・福祉部門で協議する必要性**を理解できた
- 協議を通して、市町と圏域で扱う課題の整理ができた
- 市町の取組を整理する必要性を理解できた



管内市町保健・福祉担当者の**共通認識を醸成**することができた
市町村協議の場の単独設置に向けた一助となった

地域生活支援関係者等研修会 振り返り

課題解決に向けた取組⑤

研修を通して見えてきた課題

参加者の感想から

○「参加者自身が持ち帰ったものを庁内でどう広げていくか」

○「今後も、参加者以外の職員の理解促進が必要」

との声が挙がった

市町村協議の場の立ち上げに向けた、
保健福祉事務所の継続した後方支援が必要



市町村を基盤とした、「にも包括」構築に向けた取組の推進へ

おわりに

地域生活支援関係者等研修会を開催するまでに…

管内市町保健・福祉担当者へ
足を運び、対話を重ねた

地域拠点センターふきのとうと
打合せを重ねた

意識醸成を図ることができた

活動方針を明確化できた

体制整備の合意形成ができた

役割分担が明確になった

「にも包括」構築に向けた取組において、
顔の見える関係づくりや(下準備や段取り等の)事前準備が大切